

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 940 号	氏名	生田 暢彦
学位審査委員	主査	佐藤 克也	
	副査	東 登志夫	
	副査	澤井 照光	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、これまで包括的に検討されなかった聴覚過敏を伴う自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder:ASD) 患者に対するイヤーマフとノイズキャンセリングヘッドホンの効果について調べたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ASD 患者 25 症例に対し、イヤーマフとノイズキャンセリングヘッドホンの効果について Goal Attainment Scaling (GAS) を用い効果を評価し、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、聴覚過敏を伴う ASD 患者に対し、統計学的にイヤーマフの効果が認められ、今後の聴覚過敏を伴う ASD 患者の新規治療法及び精神障害リハビリテーション研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は精神障害リハビリテーション研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			